

小池 學五 梁橋

第二卷

著者 吉啓 池小 士學五



D08.01
K
8290

42

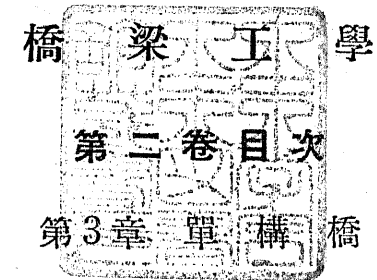
昭和43年 1月 31日

寄贈者 町書 長谷川章平

名著100題図書

登録	昭和 43 年 3 月 / 日
番号	第 R290 号
社団法人	土木学会
附属	土木図書館

寄贈者
 長谷川章平
 昭和43年1月31日
 寄贈
 土木図書館



第1節 總 論	
§ 65. 結 構	1
§ 66. 結構の種別	3
§ 67. 結構の應力	5
§ 68. 格點荷重	6
第2節 格點荷重に依る應力計算法 (直弦構)	
§ 69. 直弦構應力計算の一般方法	9
§ 70. ストレーベン構とステンデル構	13
§ 71. 直弦構の實例其一 (ストレーベン構)	14
(a)ワーレントラス (b)堅材を有するワーレントラス	
(c)二重ワーレントラス (d)ラティストラ	
(e)ローゼンジトラス	
§ 72. 直弦構の實例其二 (ステンデル構)	37
(a)ハウトラス (b)ブラツトラス (c)ホイツブルトラス	
(d)バルチモアトラス (e)Kトラス	
§ 73. 格點荷重に依る應力計算の圖式解法	77
第3節 格點荷重に依る應力計算法 (曲弦構)	
§ 74. 曲弦構應力計算の一般方法	80
§ 75. 曲弦構の實例	84

	(a)ボーストリングトラス	(b)シュエドラートラス	
	(c)ホオリートラス及レンテキユラートラス		
	(d)ホイツプル型曲弦構	(e)ベチツトラス	
第4節	橋構の影響線		
§ 76.	直弦構の影響線.....116		
	(a)ストレーベン構の影響線	(b)スタンデル構の影響線	
§ 77.	曲弦構の影響線.....125		
	(a)プラツト型曲弦構	(b)K構	(c)ベチツト構
	(d)ミューラープレスロー構		
§ 78.	影響線に依る應力計算法.....138		
第5節	數多の集中荷重に依る最大應力		
§ 79.	直弦構の場合.....141		
§ 80.	曲弦構の場合.....146		
第6節	風壓及其他の荷重に依る應力		
§ 81.	直弦構の横綾構.....148		
§ 82.	直弦構の橋門構及對傾綾構.....150		
	(a)下路橋	(b)上路橋	
§ 83.	曲弦構の横綾構及其他.....166		
§ 84.	横荷重の主構に及ぼす影響.....168		
	(a)横綾構の弦材應力	(b)橋門構の應力に因る影響	
	(c)主構の顛覆		
§ 85.	遠心荷重の主構に及ぼす影響.....178		
§ 86.	縦荷重の主構に及ぼす影響.....184		
第7節	斜構橋		
§ 87.	斜構橋の構造大要.....185		

§ 88.	斜構橋の應力.....188		
第8節	木構橋		
§ 89.	緒言.....189		
§ 90.	木構橋の高さ.....191		
§ 91.	弦材.....191		
	(a)下弦材	(b)上弦材	
§ 92.	腹材.....202		
	(a)對角材	(b)踏止木	(c)對材
	(d)垂直材		
§ 93.	床部の構造.....209		
§ 94.	横綾構及橋門構.....209		
§ 95.	端支承.....210		
§ 96.	反り.....212		
第9節	木構橋設計實例		
§ 97.	木構橋設計實例.....213		
第10節	鋼構橋		
§ 98.	緒言.....245		
§ 99.	鋼構橋の寸法.....247		
	(a)構高	(b)分格長	(c)構の間隔
§ 100.	鋼構橋設計に關する一般注意事項.....250		
§ 101.	弦材.....251		
	(a)上弦材及端柱(抗壓材)	(b)下弦材(抗張材)	
§ 102.	腹材.....258		
	(a)斜材	(d)垂直材	
§ 103.	綴釘及綾綴.....262		

	(a)綴 釘 (b)綾 綴	
§ 104.	鋸結構の格點構造	266
§ 105.	鋸結構の格點構造	287
§ 106.	横 綾 構	296
§ 107.	橋門構及對傾綾構	299
§ 108.	床部の構造	301
	(a)鐵 道 橋 (b)公 道 橋 (c)床部と橋臺との連結 (d)上路橋の床部構造	
§ 109.	端 支 承	323
	(a)搖承鉤と搖承沓 (b)輾 子 (c)牀釘及輾子承臺 (d)振 子 臺 (e)鑿 釘	
§ 110.	反 b	342
第11節 鋼構橋設計實例		
§ 111.	鋼構橋設計實例	344

附 錄 目 次

1.	鋼鐵道橋設計示方書	1
2.	道路構造に關する細則	12
3.	東京市電車荷重の當量等布荷重圖	23
4.	斷面及寸度	24
5.	度量衡換算表	42

橋 梁 工 學

第 二 卷 目 次 終